

魚沼市ものづくりタイムズ



ものづくりの推進者たち

事務局：魚沼市役所商工観光課 792 - 9753 Fax 793 - 1016

メール通信先：産業振興係青木 (mail:aoki-susumu@city.uonuma.niigata.jp)

2006年5月22日 No. 4 魚沼市ものづくり振興協議会

全体会「講演会」in 神湯温泉

魚沼市ものづくり振興協議会設立後、初の動きとして、当会の発起人代表で設立までご尽力いただきましたホリカフーズ(株)の今野社長をお迎えして、『事業展開にともなうトップの役割』～缶詰から治療食への展開～と題してご講演をいただきました。

5月10日、神湯温泉倶楽部を会場に、全体会



が開催され、会員31名、新潟県魚沼地域振興局2名、事務局6名が出席して、経過報告とものづくりを『食品』の側から考えることをテーマに講演会を開催しました。

以下ものづくり協議会小林会長の感想

ホリカフーズ(株)の歴史の中で、時代の流れで発生する変化点を、チャンスに置き変えて来られたこと。逆境を順境に変える社風を創られて来られたこと。等々、基本に忠実である事が、いかに大切であるかを改めて感じました。

これまで恵まれていたこと

- ・良い人材に恵まれていたこと
- ・設備が比較的良かったこと
- ・原料の調達を商社を通じて容易にできたこと
- ・良い取引先に恵まれていたこと
- ・食肉缶詰に徹してきたこと
- ・良い社風があったこと

今後の参考にすること

- ・自社の強みは何か、強みを武器として事業をすること
- ・人材を育成し、良い社風を創ること



『今野社長さん
ありがとうございました』

この講演会が終わり、会場を大広間に移動して懇親会。「会員同士が顔見知りにならなければ、振興協議会の動きは難しい」という役員会・理事会の提案を受けての懇親会でした。大きな目標は一致しているので、『乾杯』と同時に企業戦士の懇親会となりました。



小林会長が市長を表敬訪問

5月22日、市長室で当会の設立からの動きと今年度の重点課題を報告しました。また、同席において7月11日17時から、魚沼市の展望（仮称）を市長から講演していただくことが決まりました。



市長講演会の期日は確定しましたが、会場等は決まり次第ご案内します。予定としては、聴衆範囲を会員企業2名の出席とし、講演会後に市長を交えて懇親会を開催することとしていますので、会員各位には日程調整をお願いします。

『新潟の勘違い』

日経新聞長岡支局の前局長 井上 亮さんが、長岡支局長時代に集めたメールレターを本にした『新潟の勘違い』を設立入会記念として、会員に一冊配布しました。（入会金納付確認後の配布のため、まだ届いていない所もあります。）

一編が短く読みやすい内容でした。言われれば、確かにそうかもしれないと思うことが多々ありました。“敵を知り己をれば百戦危うからず”は、中国の「孫子」に出てくる有名な言葉ですが、新潟に肩まで浸かっていると己を知る感覚が鈍くなっていることに気づきました。

先の設立総会での河合企画監の講演でもありましたが、外から地域を見ることで、今まで見えなかったものが見えることもあるように思います。

今後の動き

6月22日、会員の新潟プレジジョン星社長の紹介で、長岡技術大学の小島学長より、産学連携（新連携）の集中講義を受講してきます。

新連携とは、国の施策で大学等の研究機関と技術を持った企業で、新技術や新素材を開発しようとするものです。今回は、役員で訪問講義を受講してきますが、内容によっては魚沼市で講義・講演の開催を視野に入れているところです。

会のマーク・愛称

応募者微小！

5月10日の全体会資料に添付しましたが、会のマークと愛称の応募が微小です。〆切りを定めていませんが、早めに応募してください。微小の中から、理事会で決定の予定です。